



倒壊した高架橋（1995年）



復旧した高架橋（1999年）

写真提供：神戸市

六中防災 便り

Vol.9

2017.1.25

1995.1.17 - 阪神・淡路大震災から改めて学ぶ -

1995年1月17日午前5時46分に発生した「阪神・淡路大震災」は、日本で初めての近代的な大都市における直下型地震であり、多くの命を奪うとともに、都市機能や建築物に大きな被害を与えました。阪神・淡路大震災のデータから防災について改めて学び、未来に備えましょう。

阪神・淡路大震災 基本データ

・震源	兵庫県淡路島北部
・最大震度	震度 7
・規模	マグニチュード 7.3
・死者	6434 人
・重軽傷者	43792 人
・全半壊家屋	274181 棟
・避難者	約 35 万人

77%

阪神・淡路大震災では、家屋の倒壊や家具の転倒により多くの人が命を落としました。これは実に亡くなった方の 77%に上ります。命を守るため、家屋の耐震化と家具の固定が大切なのです。

90 日間

阪神・淡路大震災では、水道や電気、ガスといったライフラインが被害を受け、生活に支障をもらしました。水道やガスは、地中に配管が埋まっているため、復旧に時間がかかります。阪神・淡路大震災では、水道の完全復旧に 90 日間かかりました。そのため、日頃から備蓄品を用意しておくことが大切です。

約 2.7 万人

阪神・淡路大震災は、多くの人が寝ていた早朝に発生しました。そのため、多くの人が寝ているままの姿でがれきの下敷きになり、8 割の人は自力で脱出しましたが、約 3.5 万人が生き埋めになりました。そのうち、近所の住民により約 2.7 万人が救出され、その 8 割が生存していました。特に災害発生から 24 時間以内の救出は生存率が高く、家族や近所の住民の力によって多くの命が救われたのです。

その他

約 60% … 原因が判明した火災発生件数のうち、約 60%が通電火災と言われています。避難するときは、ブレーカーを落とすましょう。

1~2 秒 … 阪神・淡路大震災で観測された揺れの周期。直下型地震で発生しやすい「短周期地震動」と呼ばれ、建築物に大きなダメージを及ぼします。一方、東日本大震災の長い揺れは「長周期地震動」と呼ばれ、揺れによる被害は、津波の被害に比べて非常に小さいものでした。

～ 安全教育番外編 自転車交通安全教室 ～



14 日土曜授業の日、校内で安全教室が行われました。1・2 年生は「自転車の正しい乗り方」というリーフレットを参考にしながら、ワークシートの穴埋めをしました。その後、班で交通安全クイズを考え、お互いに発表をし、自転車の安全利用についての学習を深めました。3 年生は弁護士をお招きし、交通事故についての講話をしていただきました。実際の判例をもとにどのような責任が生じるのか、加害者・被害者の立場から考えました。I 組は実際に自転車に乗りながら、真っ直ぐ進むことができるか、カーブではスピードをゆるめて乗ることができるかを確認し、正しい自転車の乗り方を学びました。